



所沢市民文化センター ミューズ

2025年11月15日号 (年6回 1・3・5・7・9・11月号発行) 発行元 公益財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1 TEL.04-2998-6500

Info Mart

インフォ・マート

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp> vol.140



石丸由佳[オルガン] 木村多江[朗読] ▶▶P1

ケルティック・クリスマス2025 in 所沢 ▶▶P3

郷古廉[ヴァイオリン] 阪田知樹[ピアノ] ▶▶P5

私だけが知っている夫の秘密 ～J.S.バッハの妻、マグダレーナの告白



オルガニスト
石丸由佳

演奏会であり、朗読劇。リアルなバッハを、ご体験ください。

『私だけが知っている夫の秘密～J.S.バッハの妻、マグダレーナの告白』の演出・脚本を担当する、北阪昌人です。

この舞台はオルガンの演奏会であり、朗読劇。由佳さんと、大女優・木村多江さんという二つになるのは間違いありません。

小学校や中学校の音楽室に飾られたバッハ微塵も感じませんでした。でも二番目の妻・マ見えてきます。転職を繰り返す。仕事のために買ってきてただ眺める。ちゃんと勉強してこなす。バッハは、没後275年経った今も、『音楽続けるのか、そこには妻・マグダレーナと歩いた、細く険しい道のりがあったのです。

「朗読のレジェンド」木村多江さんが語るエピソード。バッハの名曲が全く違うように聴こえたらいいぜひ、リアルな舞台でリアルなバッハを、ご体験ください！

の妻、マグダレーナの告白』の演出・脚本を担当する、北阪昌人です。

です。世界的に評価の高いオルガニスト・石丸の才能がぶつかり合い拮抗する、稀有な舞台

の肖像は、どこか異国の偉いひと。親近感などグダレーナの告白を聞けば、人間臭いバッハが我を忘れ上司とぶつかる。使いもしない楽器をい弟子にキレる。なぜ天の父』として影響を与えた、細く険しい道のりがあったのです。



ソードにより、今までのこと願っております。

北阪昌人【演出・脚本】

人間・バッハの日常から生まれた音楽を聴いてください。

崇高で、厳格。約300年前の、私たちが知らないそんなイメージがあるかもしれません。でもバッハの日常から生まれた音楽を聴いていただきます。

若い頃から日々働いて、上司のご機嫌をうかがう。私たちの面倒を見ながら、愛する妻と生活している。今回の公演では、人間・バッハの日常について生まれた音楽を聴いていただきます。

い世界からきた美しい音楽。バッハの音楽にはハダって一人の、私たちと変わらない人間だったのです。

い部下を育て、時にはいさかいを起こし、子ども

妻マグダレーナに語ってもらいながら、そこから

石丸由佳【オルガン】

バッハの秘密って?! 今からわくわくがとまりません。

宇宙のような音色に、石丸由佳さんの優しさがから魔法のように紡ぎ出される、人の心に寄り添う温かな言葉たち。その上、バッハの秘密って?!もう今から私もわくわくが止まりません。み

加わった壮大なパイプオルガン。北阪昌人さん。添う温かな言葉たち。その上、バッハの秘密って?!もう今から私もわくわくが止まりません。みなさんもご家族やお友達と一緒に、バッハの

木村多江【朗読】

私だけが知っている夫の秘密～J. S.バッハの妻、マグダレーナの告白 石丸由佳【オルガン】 木村多江【朗読】

2026年3月14日(土)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 3,300円 **メンバーズ特割** 2,700円



公演情報

〈曲目〉

J.S.バッハ:トッカータとフーガ へ長調 BWV540

J.S.バッハ/シュテルツェル:

『アンナ・マグダレーナ・バッハのための音楽帳』より

「あなたがそばにいてくださるのなら」BWV508

ヴィドール:『バッハの思い出』よりマタイ受難曲 終曲 ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。



俳優
木村多江

「ケルト音楽」の魅力、3つのポイント

1.ダンスミュージックの楽しさ

メロディとリズムが一体になった旋律が何度も繰り返されていく展開は、まさにケルト音楽の楽しさそのもの。最初の音を聴いた瞬間から心がワクワク、リズムに乗って自然に身体が動いてしまい、つい踊りたくなるような勢いにあふれています。

2.心に響くメロディ

特に歌が入るようなスローな曲の旋律は、素朴で温かくどこか哀愁を秘めていて、日本人の心にも深く刺さるものがあります。

3.さまざまな楽器の独特な音色が生み出すサウンド

金属製の縦笛ティンホイッスル、木製の横笛フルート、スティックで叩く皮の太鼓バウロン、フィドル(ヴァイオリンの別名)、バグパイプ、アコーディオン、アイリッシュ・ハープなどのアコースティックな響きは、ケルト音楽を形作る上でなくてはならない大切な要素なのです。



コラム「ケルクリを100倍楽しくみよう!」(執筆=藤井真也)より



Clare Sands

フィドルやダンス無料ワークショップも開催

ロビーでは、マルチ楽器奏者としても活躍するクレア・サンズによるフィドルのワークショップや、ザ・ステップクルーによるダンスのワークショップを開催します。公演チケットをお持ちの方は誰でも無料で参加できますので、この機会に是非試してみてもいいのでは?? 日本人プレイヤーによるアイリッシュ音楽&ダンス・ライブもお楽しみに!



2023年ロビーセッションの様子

ケルティック・クリスマス 2025 in 所沢

2025年12月7日(日)
12:45ロビー開場(14:30客席開場)
15:00開演
アークホール



公演情報

好評発売中

〈出演〉
シャロン・シャノン[アコーディオン]
リアム・オ・メンリィ[ヴォーカル・ピアノ・バウロン]
ザ・ステップクルー・トップ3 with ダン・ステイシー
クレア・サンズ[フィドル他]

〈料金〉全席指定 S席:6,300円 A席:5,500円
メンバーズ特割 S席:5,300円 A席:4,800円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者の一部が変更になる場合がございます。

12:45~

「ケルト市」ほかロビーイベント開催!

毎年売切れ続出! ケルト雑貨やアイリッシュ・フードの販売、演奏、ダンスなど盛りだくさん。
タイムスケジュールはホームページをチェック! ☒



お気に入りの一品に
出会えるかも?



アイルランドが世界に
誇るギネスビールも販売!

※写真は2024年開催時のもの。

最高にHAPPYなケルト音楽フェスティバル

今年もこの季節がやってきた!

ケルティック・クリスマス 2025 in 所沢

Celtic Christmas 2025 in TOKOROZAWA

ミューズで3回目の開催となるケルト音楽の祭典「ケルティック・クリスマス」通称『ケルクリ』。今年もアイルランドが世界に誇るトップアーティストたちが大集結! 所沢ミューズだけの特別な一夜をお届けします。

Sharon Shannon



幸せに満ち溢れる アコーディオンのシャロン・シャノン

アイルランドの人気・実力NO.1アコーディオン奏者のシャロン・シャノンがバンジョーとギターを携えて登場。10代からプロとして活躍し、2008年にはアイルランドのグラミー賞「メテオラ・ミュージック・アワード」の特別功労賞を史上最年少で受賞。小型のボタン式アコーディオンで躍動感溢れるパッセージ、情感溢れるメロディックなプレイを魔法のように自在に弾きこなします。見るもの聴くものを幸せにすると世界中で大絶賛!アイルランドの国宝とも言われた国民的スターの至福の演奏に満たされてください。

Liam Ó Maoláí



心を揺さぶる魂の歌声 リアム・オ・メンリィ

U2のボノが世界一のホワイト・ソウル・シンガーと絶賛したカリスマ・ヴォーカリスト、リアム・オ・メンリィ。ロックバンドのホットハウス・フラワーズのフロントマン(ヴォーカル・ピアノ・作詞作曲)としても活躍し、ソロではアイルランドの伝統音楽、ソウル、R&Bを融合した壮大なスケールの歌で世界各国の聴衆を魅了しています。アイルランドの伝統打楽器バウロンの名手でもあり、アイリッシュ・ハープやルーツが色濃く映るゲール語(アイルランド語)の伝統歌も歌いこなす唯一無二のシンガー。心揺さぶる魂の歌声は必聴です!

驚異のダンス・テクニック ザ・ステップクルー・トップ3 with ダン・ステイシー

アクロバティックな脚技でステージに華を添えるのは、驚異のダンスショーで世界中を沸かせている「ザ・ステップクルー」のトップメンバーたち。数々の大会で世界チャンピオンとなっているキャラ・バトラーをはじめ、2017年のチーフダンスツアー・メンバーとして過去にもミューズの観客を沸かせたピラツキ兄弟、そしてオタワヴァレー・ステップダンス(※1)のバイオニア的存在で、フィドル兼ダンサーとして活躍するダン・ステイシーが登場します。華麗な高速ステップは、見ているだけで思わず体が動きだすことでしょう。

(※1) 伝統的なアイリッシュ・ダンスは上半身を動かさないが、カナダのオタワヴァレーに伝わりタップダンスと融合して、よりエネルギッシュなスタイルに発展したステップ・ダンス。



The STEPCREW TOP3 with Dan Stacey



あらゆる共演者を魅了！
世界20ヶ国以上で活躍する真の実力派！

透徹の美学が生み出す 新時代の名演奏

2024年にN響の第1コンサートマ
魅了する美しいカンタービレとし
る郷古廉。数々のコンクールで目
力派、阪田知樹。若き巨匠による

Tomoki
Sakata

阪田知樹[ピアノ]

スターに就任。あらゆる聴き手を
なやかな音楽性で世界を魅了す
覚ましい成績をおさめる真の実
透徹の美学に耳を傾けたい。

Junao
Goko

郷古廉[ヴァイオリン]

卓越した音楽性で世界から
称賛を浴びる新時代のヴァルトウオーズ



第1コンサートマスターとして N響を牽引する若き巨匠

10代の頃から独特の美学と存在感を放つ名手だった。プログラム構成にしても、演奏スタイルにしても、決して時流に流されたり聴き手の好みに迎合したりすることなく、自らが信じる道をまっすぐに歩んできた。

16歳でウィーンに留学するが、そこには20世紀最高の名手オイストラフの薫陶を受けたバヴェル・ヴェルニコフの存在があった。マスタークラスを受講しヴェルニコフの音楽と人間性に魅了された郷古は、予備課程を経て17歳にしてウィーン市立音楽大学に入学を許され、恩師ヴェルニコフから多くを学ぶことになる。同時にウィーンという街からは、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどの作品を演奏するうえで大きな刺激を受けたという。

13歳でメニューイン青少年国際ヴァイオリン・コンクール優勝、20歳でティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール優勝という栄冠を手にするが、驕ることなく音楽家として経験を重ねていく。オーケストラの経験を深めるためにペー・トーヴェンの交響曲の全曲演奏に参加したり、また東京・春・音楽祭では3年間をかけてペー・トーヴェンのヴァイオリン・ソナタの全曲演奏に取り組むなどじっくりと歩みを続けてきた。

2022年にN響のゲスト・アシスタント・コンサートマスターに就任し、2024年からは第1コンサートマスターとして輝かしい歴史を誇るN響の顔として活躍している。東京・春・音楽祭でもコンサートマスターとしてムーティ、ヤノフス

キという巨匠から絶対的な信頼を得るなど、まさに日本のオーケストラ界を牽引するリーダーとして存在感を放っている。オーケストラでの活動と並行して、ソリストとしての活躍もますます目覚ましく、所沢ミューズでもオルガニストの原田真侑と共演したフランクのソナタで、伸びやかなカンタービレと惚れ惚れするような美音で絶賛を浴びた。所沢ミューズでは初めてとなるリサイタルでも信頼するピアニストを得て、郷古廉が磨き上げてきた揺るがぬ美学を披露してくれることだろう。



リスト国際ピアノコンクール優勝、 エリザベート王妃国際コンクール4位

2016年、弱冠22歳の阪田知樹がブダペストで開催されたリスト国際ピアノ・コンクールで第1位を獲得したというニュースは、当時世界の音楽界で大きな話題となった。優勝のみならず6つの特別賞を総なめにしたうえ「まるで天使が弾いているかのよう！」と称賛を浴び、審査員満場一致での快挙だった。さらに2021年には課題曲の多さから「世界最難関」とも評されるエリザベート王妃国際コンクールで4位入賞を果たし「多様な音色をもつ、知性派ヴァルトウオーズ」と称賛を浴びた。

こうした快進撃の基礎となったのが、16歳から10年にわたり師事したパウル・バドゥラ・スコダの存在だろう。20世紀屈指の名ピアニストであり音楽学者でもあったバドゥラ・スコダからは、楽譜に込められた作曲家の想い、自筆譜や歴史的な楽器の研究に基づく奏法、古い録音を通じて得られる知識や演奏習慣など、音楽家として大切な多くのことを学んだ。さらに、バドゥラ・スコダは自身がリスト直系のピアニスト（リスト→M・クラウゼ→E・フィッシャー→バドゥラ・スコダ）であるということに誇りを持っており、リストの正統的な演奏方法や解釈において、計り知れないほど大きな示唆を与えてくれたという。

デビューから10数年というキャリアながら、すでにスラットキン、ラザレフ、バッティストーニ、コヴァーチュ、ゲッツェル、井上道義、広上淳一、大野和士などの名指揮者、そして数多くの一流ソリストと共演を重ねているが、共演者たちが

口を揃えて称賛するのが、阪田の読譜の深さと共演者の音楽性にシンクロするアンサンブル力の高さだ。今回の所沢ミューズでの公演は、郷古廉からのラブコールを受けて共演が実現した経緯があり、一流のソリストでありながら柔軟な音楽性を併せ持つ二人の演奏は、室内楽の真の醍醐味を感じさせてくれる名演奏となるだろう。



郷古廉[ヴァイオリン] 阪田知樹[ピアノ]

2026年3月8日(日)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中



公演情報

〈曲目〉

ペー・トーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 Op.24《春》
シューベルト:ヴァイオリン・ソナタイ長調 D 574/Op.162
ストラヴィンスキー:デュオ・コンチェルタンテ
シューマン:ヴァイオリン・ソナタ第2番 二短調 Op.121

〈料金〉全席指定 2,800円
メンバーズ特割 2,300円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

ステージレポート Stage Report

8月9日
~10月13日

8/9 ■ チャボロ・シュミット (土) [ジブシースウィング・ギター]

〈キューブホール〉
出演／チャボロ・シュミット [ギター]
アンソニー・ムッチョ [バス]
ジュリアン・カティオ [ギター]
曲目／Love me Tender
It had to be you ほか



8/22 ■ 特設能舞台にあがってみよう! (金)

〈マーキーホール〉
案内／遠藤喜久 [観世流能楽師] ほか

マーキーホールの特設した能舞台で、能楽師になった気分、舞台の上で歌いや、すり足の体験。楽屋では、本公演で使用する貴重な能面や美しい装束を見学しました。



8/23 ■ 触れてみよう! 能楽の世界 (土)

能『二人静』
〈マーキーホール〉
出演／遠藤喜久 [観世流能楽師] ほか

静御前の悲恋を題材とした『二人静』を上演しました。前半は、『二人静』の見どころ、舞装束について、能を狂言の舞の違いなどを、わかりやすい解説でお楽しみいただき、そして後半の神秘的な美しさを放つ二人の静の舞に大きな拍手が贈られました。



9/13 ■ ミューズ・レクチャー・コンサート (土) 《旅するオルガン》

〈アークホール〉

お話と演奏／梅干野安未、石丸由佳

古代から近代まで、そしてヨーロッパ各国の壮麗なパイプオルガンをめぐる奥深い歴史や、音のなる仕組みを徹底解剖するレクチャー・コンサート。二人のオルガニストによる音楽への愛が溢れだすような演奏とお話しに、来場者の皆様が熱心に耳を傾けられました。



9/20 ■ ポーランド国立放送交響楽団 (土) マリン・オルソップ [指揮] 角野隼斗 [ピアノ]

〈アークホール〉

曲目／バツェヴィチ：弦楽のためのディヴェルティメント
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21
ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 Op.98

ショパンの聖地であるポーランドが誇る名門オーケストラと角野隼斗がショパンで共演しました。みずみずしい抒情と繊細なタッチで紡がれる角野隼斗のショパン。いぶし銀のような深い音色と慈愛に満ちた名匠オルソップのブラームスに、満員の会場が感動と熱気で包まれ、喝采がおくられました。



10/13 ■ フェリシアン・ブリュ [アコーディオン] (月・祝)

〈キューブホール〉

曲目／ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21
ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 Op.98 ほか



写真撮影 (市民カメラマン) / 由井 (8/9) 西山 (8/23) 佐藤 (9/13、10/13) 三平 (9/20)

チケットのお問合せは……ミューズチケットカウンター

04-2998-7777

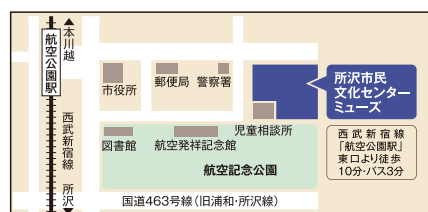
●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約 所沢 ミューズ 検索



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミューズホームページでご確認ください。
<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2025年10月22日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2026年1月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。